

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



阿南市青空市の会

金曜日の早朝、阿南市市民会館の駐車場に、仮設テントがずらりと並ぶ。徳島の魅力を朝に詰め込み41年、「金曜日」の名でも親しまれている阿南市青空市。市内外から15店舗が出店し、季節の野菜や果物をはじめ、海産物の干物や花木、日用雑貨など豊富な品揃えで人気を集めている。

市に並ぶ野菜や果物、魚はどれも新鮮でみずみずしく、しかも安い。春はタケノコ、夏はハウスみかんやすだち、秋は露地みかんや柿、冬は葉物野菜がよく売れる。海産物売り場は、一年を通して客足が絶えないという。手作り豆腐やパン、靴、花木、刃物など、何でもありの雑多感がたまらない。

開始は午前6時と早いですが、良品を求めるお客さんには関係ないようだ。早朝はお年寄りが中心で、通勤時間帯には主婦の姿も。中には職場の人に頼まれ、まとめ買いをしていく人も見られる。

「いらつしやい、今日は何にしよか」  
 あちらこちらで親しげな会話が弾み、温かな空間が広がる。



昭和59年頃の青空市



開設当初は転々としていたが、1974年(昭和49年)7月に阿南市スポーツセンター前広場に移転し、1991年(平成3年)9月から市民会館前で開設している。

第一次オイルショックによる物価の高騰を受け、1973年(昭和48年)5月、阿南市消費者協会が消費者生活の安定を図ろうと、「阿南市青空市の会」を結成したのが始まり。以来、生産者直売により、新鮮で安価な商品を提供し続けてきた。

妻・善恵さんと二人三脚で市を見守ってきた出店者代表の清春樹さん(80歳・山口町)。広報車を走らせ、集客に余念がない。「毎週楽しみにしてくれているお客さんがいます。手に取った商品の特徴や調理法などを気軽に聞けるのが市の良さ。市民の触れ合いの場にもなっています」と、敷居の低さを強調する。

季節に彩られた旬の野菜や果物、昔懐かしいふるさとの味、徳島の豊かな自然の恵みと開放感たっぷりの青空市。スカッと晴れた金曜日、ちよつと早起きして、有意義な朝を過ごしてみませんか。

出店者を募集しています!

阿南市民生活課 (☎22-1116) <